

[イナリサーチは大証JASDAQ(2176)に上場しています]



株式会社イナリサーチ 会社説明会

代表取締役社長 中川 博司

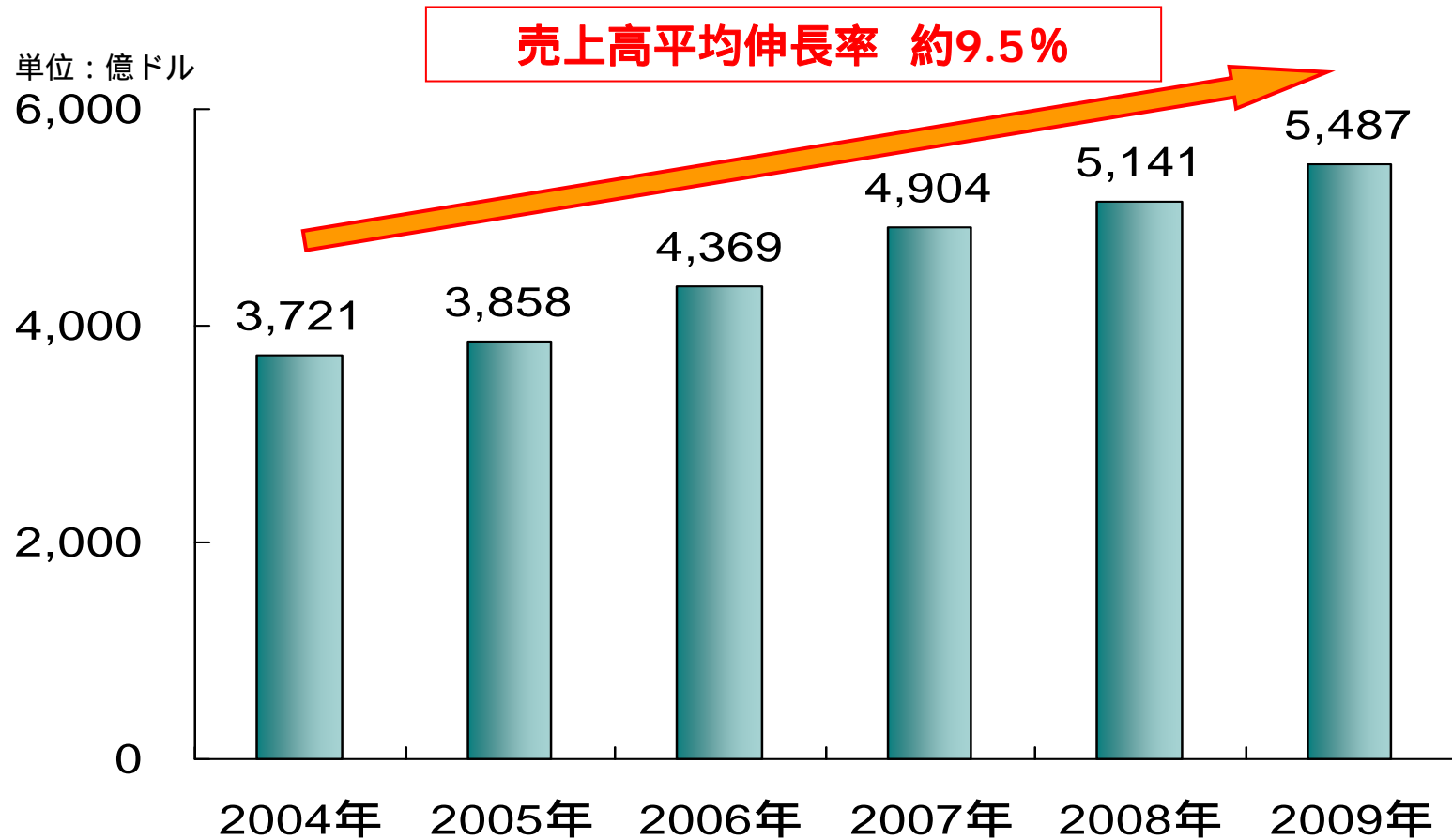
2011年9月21日

本日の説明会のポイント

1. 医薬品等生命関連市場は成長を続けています
2. イナリサーチは新しい医薬品の
開発支援サービスを主な事業としています
3. イナリサーチは生命関連事業を中核として
これからもチャレンジを続けてまいります

世界の医薬品市場

売上高推移（上位30社合計）



出典：Pharma Future(ユート・ブレーション)の調査による

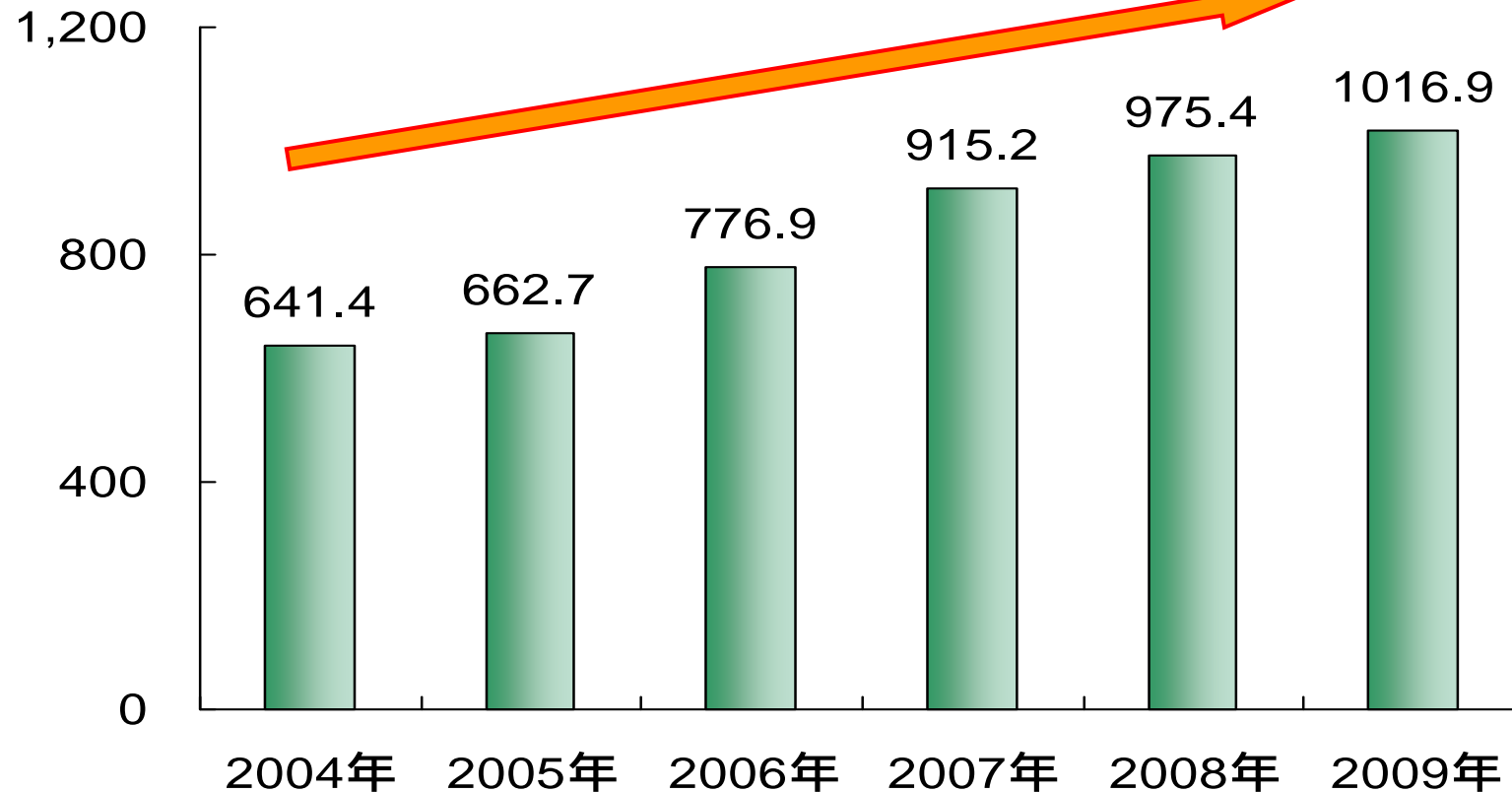
医薬品市場全体は成長を続けている

世界の製薬企業の研究開発費

研究開発費（上位30社合計）

単位:億ドル

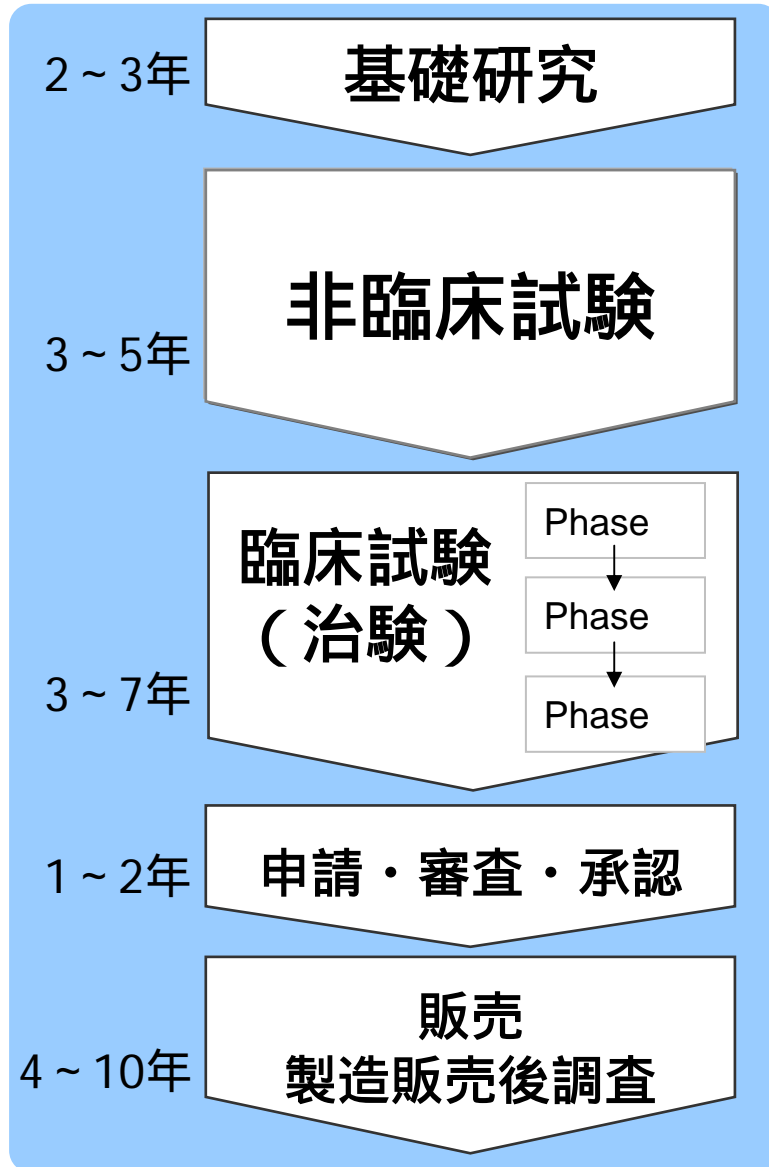
研究開発費平均伸長率 11.7%



出典:Pharma Future(ユート・ブレーション)の調査による

医薬品の研究開発費は高騰を続けている

医薬品開発プロセス



医薬品の開発～承認申請～販売

新薬は、基礎研究～非臨床試験～臨床試験（治験）によって新しい成分の安全性や有効性が確認された後国による承認審査を受けるといふ、最短でも**9年**もの長い道のりを経て、はじめて患者さんのもとに届きます。

日本製薬工業協会によると、数々の新薬候補物質が実際に新薬として承認される確率は**約1/20,000**、開発費用は**500億円**とも言われています。

製薬企業からCROへのアウトソーシング背景

1. 新薬開発のスピードをアップさせ、一日も早く患者さんに新薬を届けたい
社内だけでなく、信頼できる社外リソースも駆使して新薬の研究開発期間を短縮。
2. 開発コストの一部を変動費化したい
経営効率化・スリム化のため、ヒト・設備を全て自社でかかえるのではなく一部を社外に確保。

本日の説明会のポイント

1. 医薬品等生命関連市場は成長を続けています
2. **イナリサーチは新しい医薬品の
開発支援サービスを主な事業としています**
3. イナリサーチは生命関連事業を中核として
これからもチャレンジを続けてまいります

会社概要

社名	株式会社イナリサーチ	
設立	1974年7月13日	
代表者名	代表取締役社長 中川博司	
資本金	684百万円	
従業員数	313名	
本社・研究所	長野県伊那市西箕輪2148-188	
事業内容	非臨床試験事業	医薬品・化学品等開発のための安全性試験、薬効薬理試験の受託
	臨床試験事業	医薬品・食品開発のための臨床試験の受託
	環境事業	空調装置、スクラバー（ガス除去装置）、脱臭剤搭載装置の開発・施工・販売等
拠点	東京支所（東京都千代田区）、大阪支所（大阪府中央区）、ヨーロッパ支所（スイス連邦アールガウ州シュタイン）	
関連会社	Ina Research Philippines, Inc.（フィリピン共和国） Inaphil, Incorporated（フィリピン共和国）	

イナリサーチ成長のあゆみ

1980年代

GLP試験
受託開始
1983年

非臨床試験
データの信頼性
を確保

1990年代

サル試験を
受託開始
1992年

新規分野に参入し、
フィリピン子会社を
設立しビジネスモデル
確立

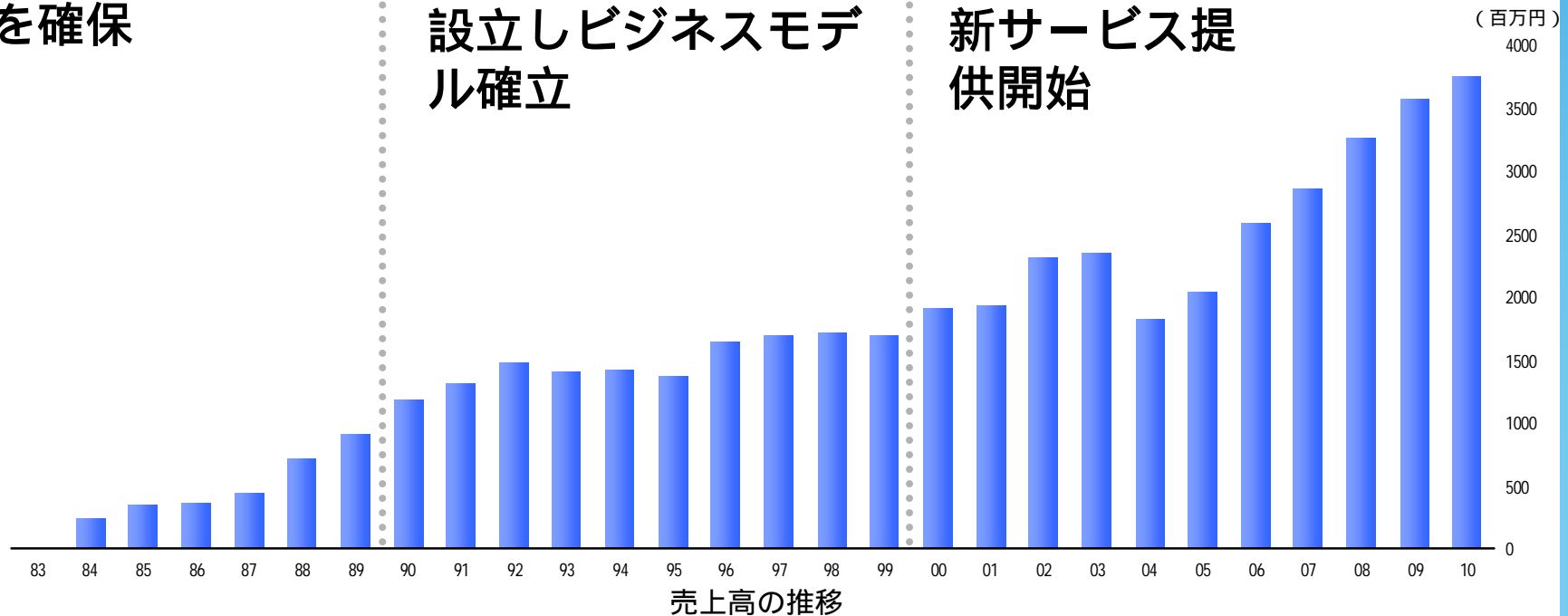
2000年代

新事業への
取組み
2003年

JASDAQ
株式上場
2008年

専門家を増員
新サービス提
供開始

更なる成長
を目指す



沿革

1974年 7月	長野県伊那市にて創業
1983年 4月	GLP()施行、同時にGLP対応試験の受託開始
1986年 9月	医薬品GLP適合性評価「A」取得
1992年11月	サル試験受託開始
1994年 4月	フィリピンに子会社 INARP を設立
1998年 5月	INARPにサル育成施設を開設
2001年 6月	サル検疫棟を新設
2005年 2月	日本初のAAALAC International (国際実験動物管理公認協会) 完全認証取得
2008年 6月	ジャスダック証券取引所 (現 大阪証券取引所 JASDAQ市場) に株式を上場
2008年 7月	試験研究棟 : 第7棟 を新設
2010年 1月	サル検疫及びストック棟 : 第8棟 を新設
2010年 3月	スイスにヨーロッパ支所 を開設

2011年3月期 業績

連結：2010年4月～2011年3月

(単位：百万円)

	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	前期比
売上高	3,750	3,937	+ 5.0%
営業利益	168	129	23.2%
経常利益	153	74	51.6%
当期純利益	66	21	67.7%

2011年3月期売上構成

非臨床試験事業

イナリサーチの主力事業

全売上高3,937百万円に対し、
本事業は
3,047百万円（構成比77.4%）

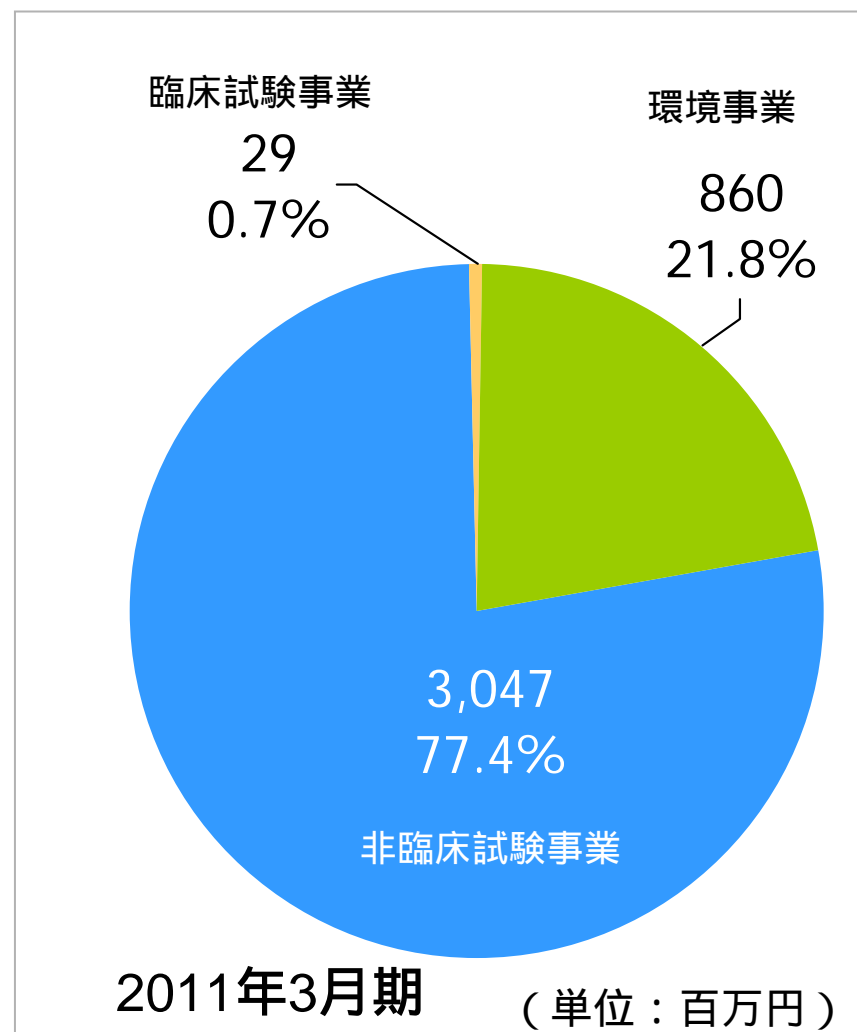
臨床試験事業

売上高 29百万円（同0.7%）

環境事業

売上高 860百万円（同21.8%）

事業別売上高



イナリサーチの事業コンセプト

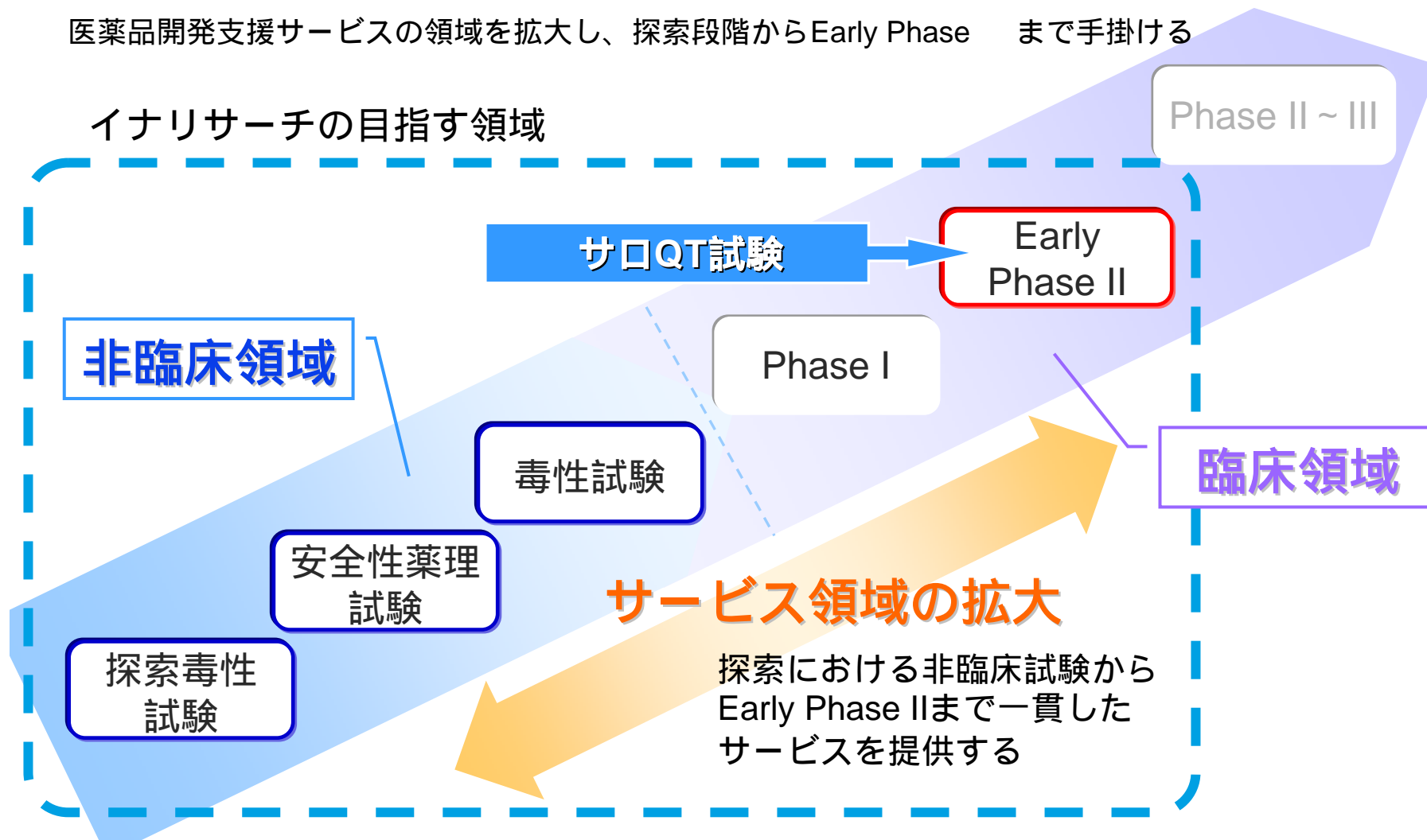
主に医薬品の開発支援サービスを提供する。

イナリサーチの目指すサービス領域

『 Proof of concept (プルーフ オブ コンセプト) 』

医薬品開発支援サービスの領域を拡大し、探索段階から Early Phase まで手掛ける

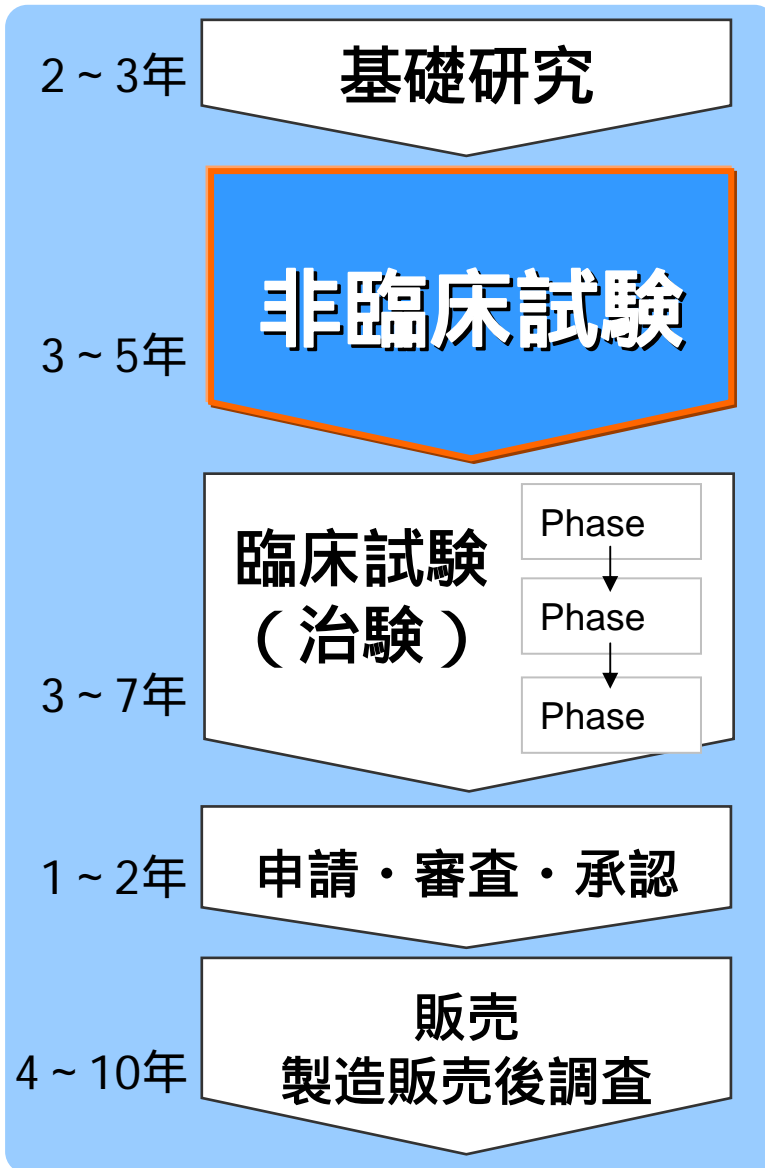
イナリサーチの目指す領域



A decorative graphic consisting of a vertical blue bar on the left and a horizontal blue bar extending from the vertical bar to the right. The intersection of the two bars is a white square.

非臨床試験事業

非臨床試験

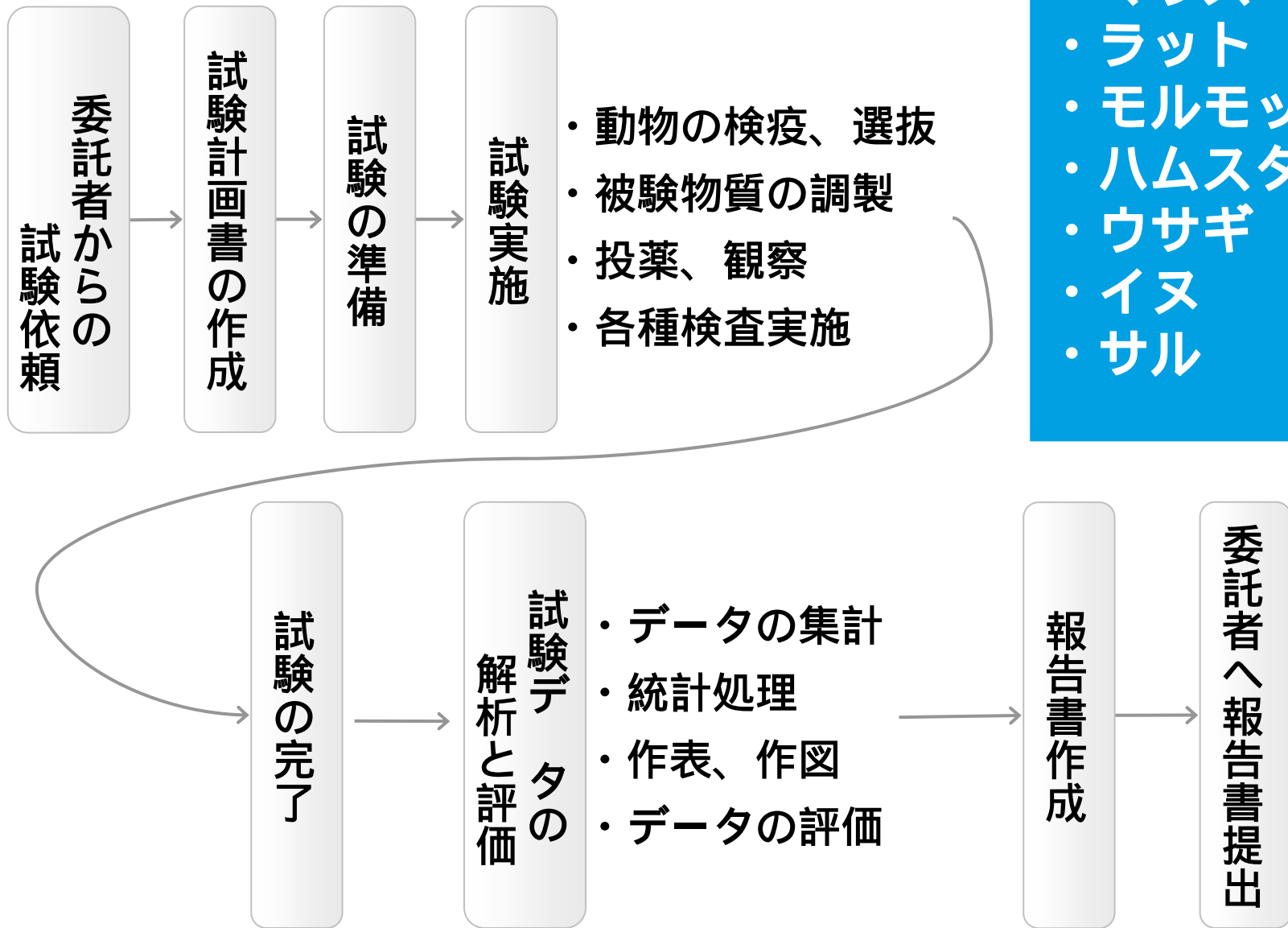


非臨床試験とは

医薬品の研究開発において、有効性・安全性を評価するため **実験動物・細胞**を用いて 薬効薬理作用、生体内での動態、有害な作用などを調査する試験

非臨床試験（仕事）の流れ

試験の流れ



- ### 取扱動物
- ・ マウス
 - ・ ラット
 - ・ モルモット
 - ・ ハムスター
 - ・ ウサギ
 - ・ イヌ
 - ・ サル

医薬品 非臨床試験の最近のトレンド

1. **バイオ・免疫・抗体医薬品の開発増加**
人と遺伝子の近いサル試験の需要が増加している。
2. 製薬各社の戦略は「**大型製品依存**」から
【**多種・高専門性・ニッチ・低競合**】へ転換中
非臨床試験の受託業界も多くの特質化試験
(病態モデル等)を有している企業が選択されている。



非臨床試験事業における イナリサーチの3つの強み

イナリサーチの3つの強み

- 1 . 独自試験及び得意試験の保有
- 2 . 高品質（馴化・訓練済）サルの調達
- 3 . 動物福祉対応

1. 独自試験及び得意試験の保有

イナリサーチ独自のサル試験

無麻酔眼圧測定試験

サル催不整脈モデル

薬物依存性試験

パーキンソンモデル試験

サル トキシコジェノミクス

2. 高品質(馴化・訓練済)サルの調達

- フィリピンルート：子会社による仕入れと育成
- 中国ルート：専属契約施設の確保

イナリサーチの調達ルートと高品質化・安定調達実現の仕組み



調達(購入)しているすべてのサルは、実験動物として繁殖された動物です。

3. 動物福祉対応

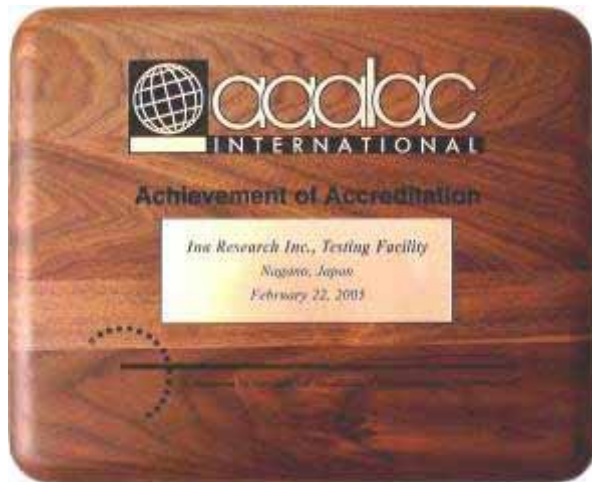
動物福祉について

非臨床試験は、マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル等の実験での使用を目的として生産された動物を使用しております。新薬の開発過程において非臨床試験は、ヒトでの臨床試験を実施する際の科学的・倫理的妥当性を客観的に評価するため、必要不可欠な試験であります。

イナリサーチグループでは、実験動物の使用に当たっては、「動物の愛護及び管理に関する法律」、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」等の適用法令および自社で策定した「動物実験指針」を遵守し、実験動物の適正な管理を行っております。

3. 動物福祉対応

- 国内で初のAAALAC完全認証を獲得
～ 動物福祉の取組みを強化 ～



認証プレート



- 実験動物へのアプローチの倫理上の妥当性を判断する国際的評価機関（本部：米国）
- 実験動物の適正な管理及び取扱いに対する世界基準を定め、それに合致したものにのみAAALAC完全認証が与えられる

- 2005年2月に日本国内で初の認証獲得
- 現在、国内のAAALAC認証施設は7施設のみ
(2011年8月現在)

特に動物福祉意識の高い欧州市場ではこの取組みは不可欠

本日の説明会のポイント

1. 医薬品等生命関連市場は成長を続けています
2. イナリサーチは新しい医薬品の
開発支援サービスを主な事業としています
3. イナリサーチは生命関連事業を中核として
これからもチャレンジを続けてまいります

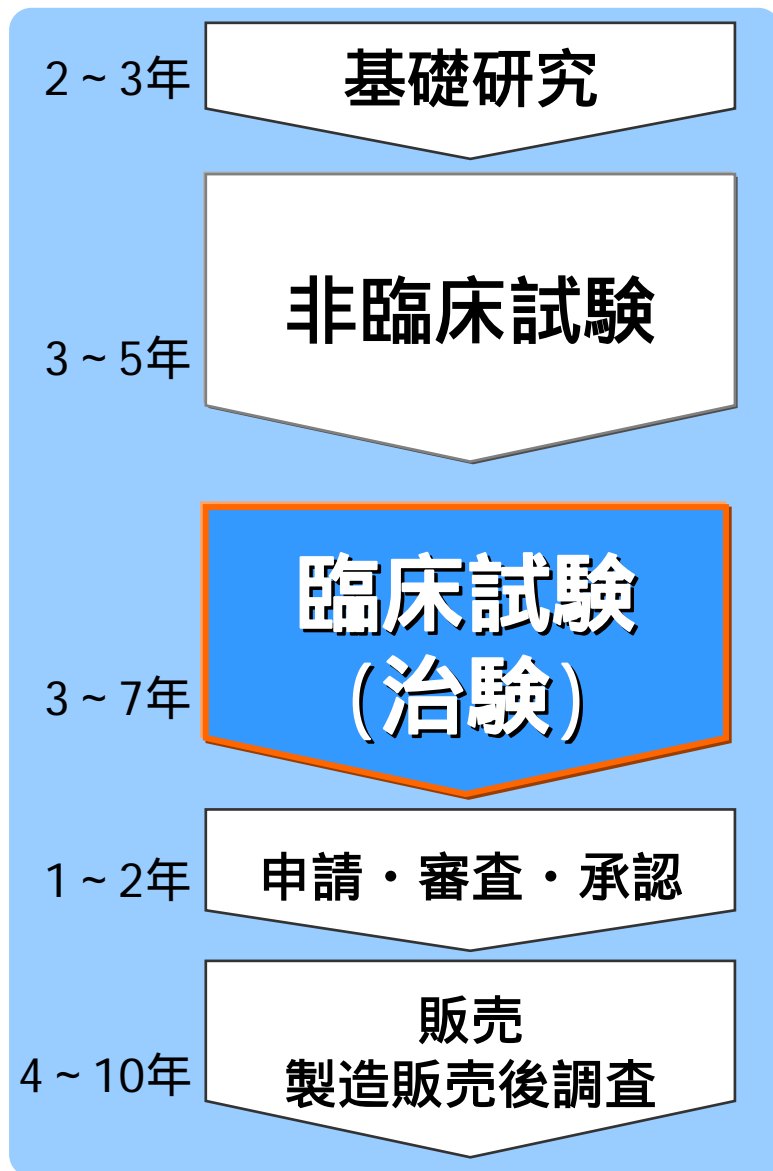
イナリサーチ成長のキーポイント

1 . 臨床試験事業

2 . 環境事業

3 . 非臨床試験事業

1. 臨床試験事業：臨床試験とは



臨床試験とは	
第 Ⅰ 相試験	少人数の健康成人で安全性を確認する試験
第 Ⅱ 相試験	同意を得た少人数の患者さんでの有効性、安全性、使用方法を確認する試験
第 Ⅲ 相試験	同意を得た多数の患者さんでの既存薬またはプラセボ（偽薬）との比較で、新薬の安全性と有効性を確認する試験
製造販売後調査	臨床試験段階では判らなかった効果や副作用及び安全性を 広範囲で調査・確認

1. 臨床試験事業：サロQT試験 / 心電図解析サービス

(1) サロQT試験

臨床試験の初期段階で、医薬品の循環器への副作用をヒトにより予測評価する試験。現在日本国内でこの試験を実施可能な施設は大学の研究施設のみ。

米国Cardiocore Lab, Inc. 及び 国内大手臨床試験施設との連携により、日本国内でのサロQT試験の実施体制確立。

(2) 心電図解析サービス

米国Cardiocore社の専門的心電図解析サービスの日本及びアジアでの総代理店事業展開

cardiocore: 世界初の心電図中央解析ラボとして1992年に設立。以来、心電図解析・評価ならびにコンサルティングを始めとして、臨床試験における心臓安全性評価サービスにおいて、業界では常に先駆的存在として世界的に事業展開。

2. 環境事業

(1) 新サイクロンスプレー式スクラバー市場導入

従来型より製作コストを抑えた廉価なサイクロンスクラバーの導入により、充填式スクラバーの顧客層を開拓

(2) 防疫ビジネスの拡大

動物飼育ノウハウを活かした鳥インフルエンザ、口蹄疫対策ビジネスへの参入

3. 非臨床試験事業

- (1) 臓器移植等の研究に有用な移植免疫寛容型サル¹の作出と販売
- (2) 薬物代謝に関する遺伝子解析・産地間比較に基づいた先駆的なサル試験の開発・実施

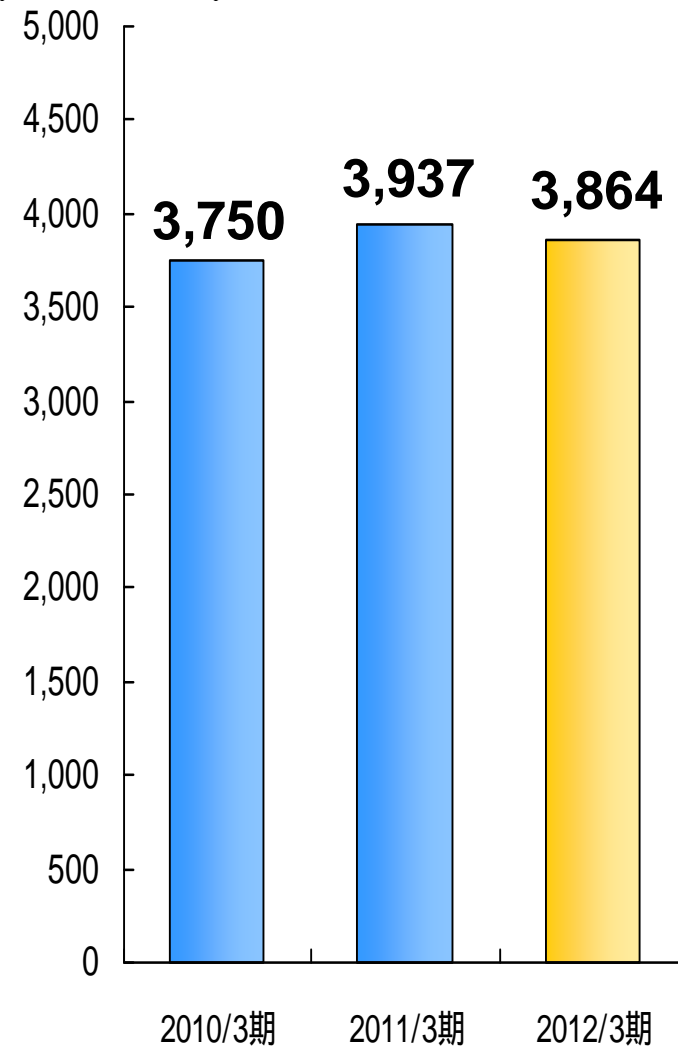


今期 2012年3月期業績見通し

2012年3月期業績見通し

	2011年 3月期	2012年 3月期	前期比
売上高	3,937	3,864	1.9%
営業利益	129	177	+ 37.4%
経常利益	74	128	+ 73.2%
当期 純利益	21	71	+ 233%

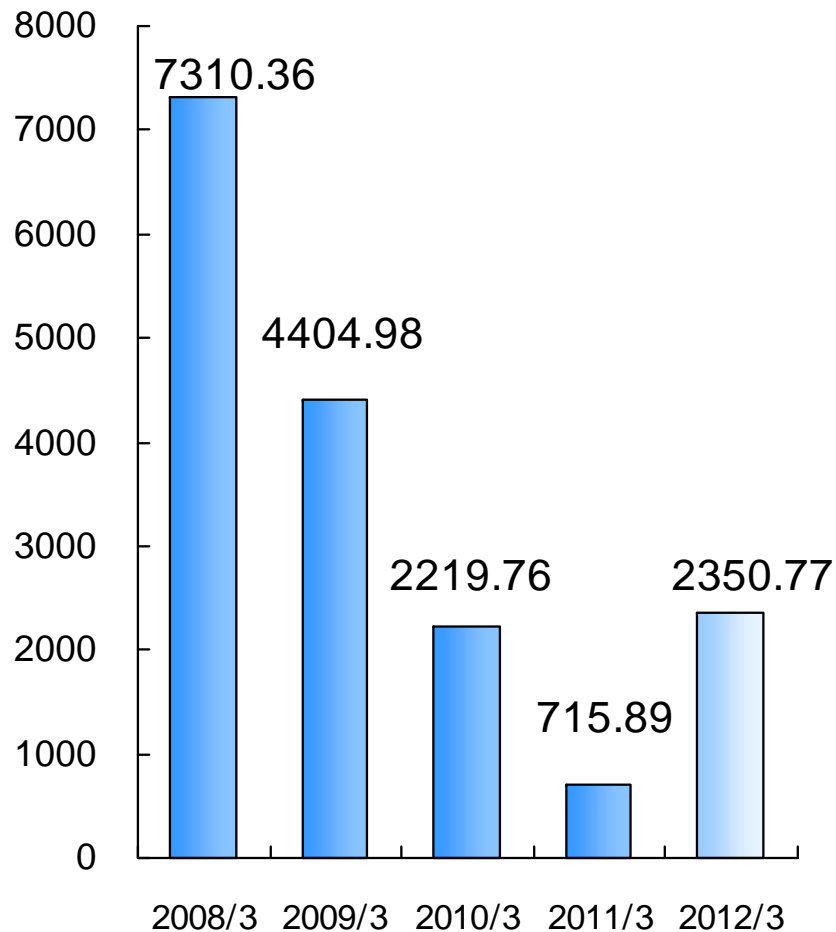
(単位：百万円) 【売上高の推移】



株主還元方針

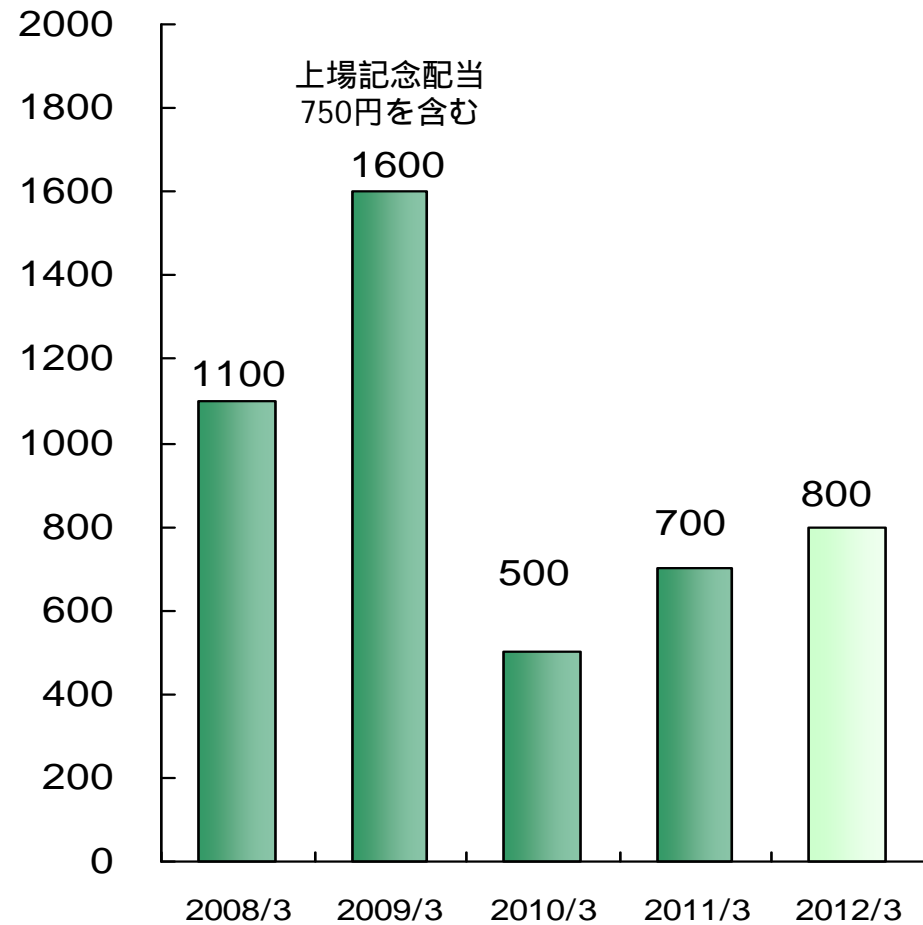
【1株当たり当期純利益】

(単位：百万円)



【配当金の推移】

(単位：円)



IR連絡先

本資料に関するお問い合わせ

株式会社イナリサーチ
社長室 IR担当

TEL : 0265-73-6647

医薬品開発のベストパートナー



Ina Research Inc.

<http://www.ina-research.co.jp/>



ご参考資料

経営理念と企業ビジョン

経営理念

人類の永遠の平和存続を願い
医薬品・農薬・食品等の
開発支援サービスを通じて社会に貢献する

企業ビジョン

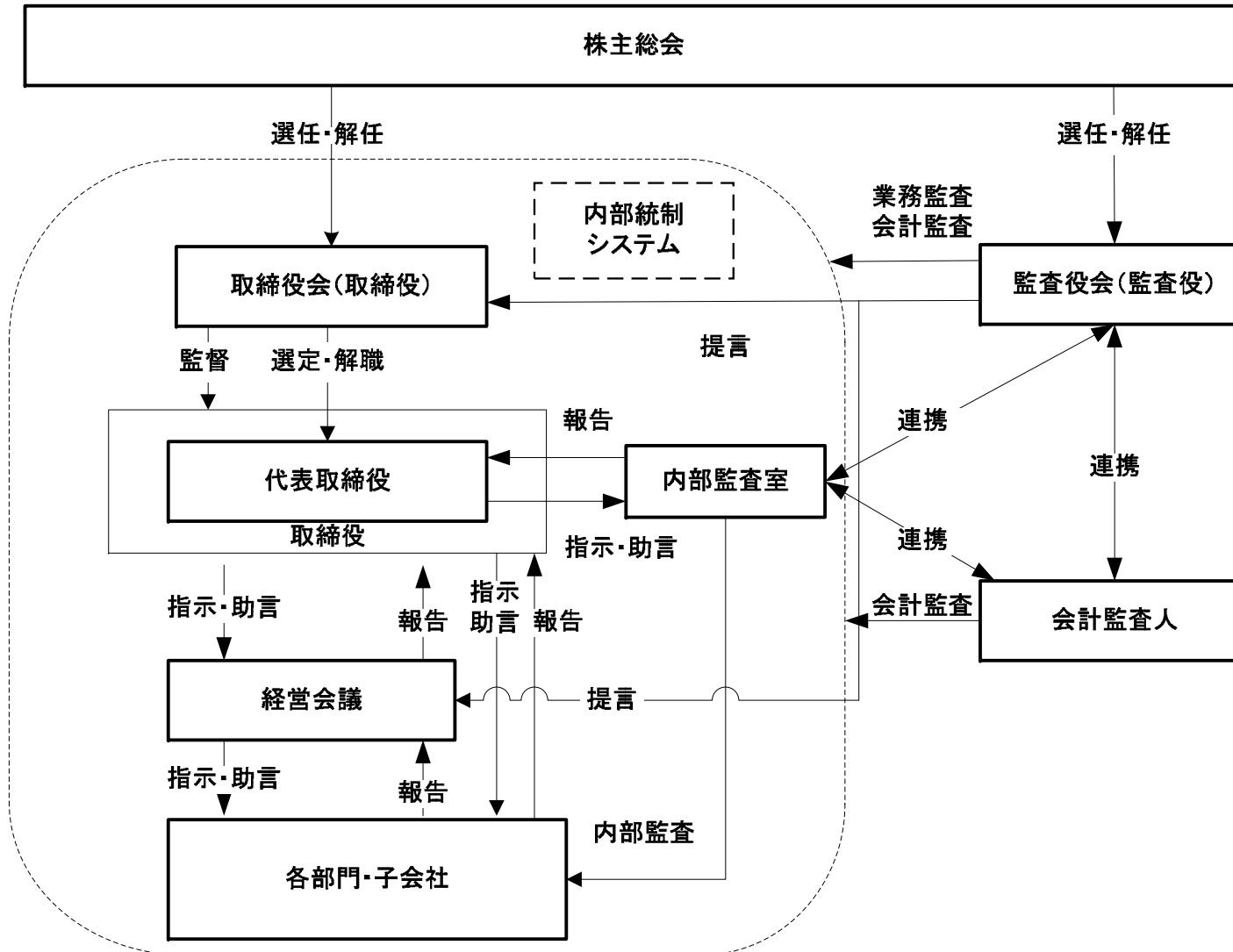


企業の社会的責任（CSR）に対する考え方

- 環境に配慮した試験施設の開発・建設
- エネルギー使用の削減及びエコエネルギーの活用によるCO₂削減
- 実験動物の効率的な利用による、使用動物数の削減
- 社員教育の徹底・充実

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの体制の概念図は下記のとおりです



本資料に関するご注意

本資料は、株式会社イナリサーチの事業及び業界動向に加えて、株式会社イナリサーチによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさ、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社イナリサーチは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2011年9月21日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社イナリサーチにより2011年9月21日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。